

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
55	東京造形大学	インダストリアルデザイン A	玉田 俊郎 酒井 俊彦	2	前期	金	14	9:00~10:40	東京造形大学	10

【到達目標】

インダストリアルデザインの歴史的な流れとその考え方、現在のインダストリアルデザインの具体的なプロセスとアプローチを理解すること。

【授業の概要】

インダストリアルデザイン(以下 ID)A および B は、「ID とは何か」を考察するための概論である。

A では歴史から ID の思考と造形技術を学び、さらに目標を達成するためのデザイン方法論に関する概略を修得する。

B では ID の専門領域を技術論的側面から概観する。著しい素材開発の現状とそれらの活用事例および製品デザインにおける形態操作についての基本を修得する。

【授業内容】

- | | |
|--|--|
| 1. ガイダンス | ン理論 |
| 2. 20 世紀のデザイン潮流 | 9. 黎明期から 1960 年代まで: 日本のインダストリアルデザイン史の概略 |
| 3. 産業と芸術: アーツアンドクラフト運動、トーンネット | 10. 60 年代以降: 日本におけるモダンデザイン、ポストモダン、プロダクトセマンティクス、ユニバーサルデザインの実際 |
| 4. モダンデザインの成立: ドイツ工作連盟、バウハウス、建築の国際様式 | 11. 市場調査: お客様アンケートからニューロマーケティングまで |
| 5. アメリカの ID 黎明期: 量産とデザイン、スタイリング | 12. マーケティング: デザインと関係するマーケティング理論の基礎 |
| 6. 機能を基本としたデザインの実践: ブラウン社のデザインポリシー | 13. 新しい潮流: デザイン思考、認知心理学、行動経済学、ジョブ理論、スペキュラティブ・デザイン |
| 7. 機能主義の形態操作から象徴性へ: 製品意味論、フィリップス社のデザイン実験 | 14. ここ数年の日本と世界のデザイン手法の実際 |
| 8. アーチャーとジョーンズ: 現代のデザイン理論につながるイギリスのデザイ | |

【成績評価方法】

全ての授業の出席を前提とするが、授業回数の 1/3 を超えて欠席した場合は、課題提出の資格がない。受講態度(50%)、提出物(50%)を基準に総合的に評価する。

【教科書】

適宜プリントを配付する。

【参考書、教材等】

参考書は授業の進行に沿って紹介する。

※ この授業は、4/17(金)が初回です。